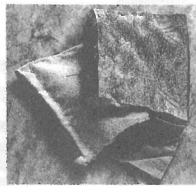


元気な赤ちゃんが誕生

栗嶋神社にお礼参り



大総の於幾地区に、地元の人々から栗嶋様と呼ばれている

萩原武さん(48歳 山谷)が、愛犬(ポインター)と全日本猟犬野競技大会(千葉県大会)に出場し、みごと優勝しました。
萩原さんは、昔から犬が大好きだそうで、猟犬を育てて28年目。競技内容についてお聞きしたところ「15分の間に獲物をいかに早く見つけ出して私に教えるか、というもの

ポイントは「犬と人とのコミュニケーション」

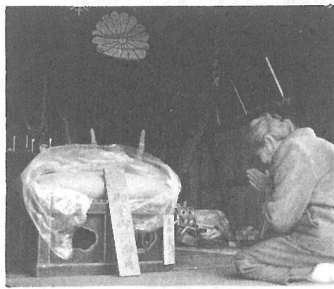
萩原武さん全日本猟犬野競技大会で優勝
です。競技中に声を出したら減点になってしまうので、手の合図だけで判断させるんです。優勝のポイント



萩原武さんと愛犬「ナナ」

は、犬と人とのコミュニケーションです。優勝のポイントは、犬と人とのコミュニケーションです。とてもうれしそうに話してくれました。おめでとございました。

る神社があります。この神社は昔、光孝天皇の妃様が流れ着き、ここで出産をし、生涯を過ごしたことから女性の神様として知られています。そしていつのころからか、「子宝に恵まれる・子どもがさずかる」という言い伝えがうまれたそうです。そこへ昨年3月3日、於幾の祭りに訪れた人がこの話を聞いて、「早く孫ができませんように」と、願いをしていきました。そして、そのとき、願い事がかなった人が奉納した「棲」(着物の裾の端を縫い合わせたもの)を借りていきました。これには女性の



習い事、「裁縫が上手になる」という意味も含まれているそうです。そうしたところ、元気なお子さんが生まれました。そこで今年の3月8日、「無事元気な赤ちゃんがさずかりました。ありがとうございます。お礼参りに訪れま

文芸

俳句

戦災に亡くせし雛と夢に逢ふ

山口 一秋

しまひ湯に身を締めけり猫の恋

藤代 ゆう

雛の日の郵便局の桃の花

勝又 和徳

春の夜や軋みて止まる終電車

鈴木 南知

手のひらを離れる稚魚や水ぬる

玉虫たけし

山笑ふ耳をすまして鳥語聞く

戸村 静華

次の腹抱へて雛を買ふ夫婦

行方はじめ

桜餅仏様にも二つほど

若梅あやめ

道芝に蓬ほつほつ春浅し

(選者) 土屋 栗水

短歌

垂乳根の母より十年ながらへて
曾孫生るる春を待ちらるつ

秋葉 とく

小屋隅に古りてホヤ無き吊りラ
ンブ光りやさしき灯の影うかぶ

掛川 友代

穏やかなみ顔に逝きし叔父上は
満ち足らひたる晩年持てり

池田 春江

雪降らむ気配に一日重も重もと
暖房機械の回り続ける

宇井 ちい

女の孫はタオル抱きしめ眠りゆ
く吾が持ちものと決めて離さず

鈴木 やす

むく鳥の群きて畑を荒せるを畑
あくなく追ひ続けるつ

斎藤 要

ヒューヒューと虎落笛にも似て
きこゆ下校の子等の吹ける口笛

木川 布佐

頬刺しに連らねし鯛の光る身に
そつと手を触れ仕上りを見る

秋葉 悦子

いつ迄も長生きしてねと添え書
きし孫は呉れたりバレンタイン
のチョコ

斎藤 秀男

献体し供物花環も辞退されまこ
と清しき君のみ葬り

(追悼) 江嶋恒夫氏

(選者) 斎藤つね子